

くれ福祉お役立ちサイト（愛称：しとってクレ）の運用について

1 概要

地域包括ケアシステムを推進する情報基盤として、インターネットを活用して医療・介護・介護予防・生活支援等の地域資源情報がワンストップで検索できる専用サイト「くれ福祉のお役立ちサイト（愛称：「しとってクレ」）」を令和5年より運用しています。

しとってクレに医療や介護、障害福祉などの各分野に携わる関係者間で福祉に関する地域情報を共有（一元化）することで、在宅医療・介護連携を推進することを目的としています。

	関係者専用サイト	市民公開用サイト
サイトの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護・介護予防・生活支援等の地域資源の検索や情報の共有ができる ・キーワードや住所、地区、カテゴリ、診療科等の様々な観点から検索できる ・市民公開用サイトと関係者専用サイトの2つのサイトで構成されている 	
運用開始日	令和5年3月31日	令和5年8月10日
ID・パスワードの作成	必要あり	必要なし（誰でもアクセス可）
公開内容	日常生活の支援、各種相談窓口、お医者さん・歯医者さん・薬局、介護保険サービス、障害児（者）の福祉サービス、子どもや子育てに関する情報、人と交流できる場所、物忘れ・認知症に関する情報	
活用できる機能など	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の検索・閲覧 ・情報の更新 ・印刷・データ抽出 ・グループツール機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の検索・閲覧

2 現状・課題

高齢者相談室、地域相談センターに「しとってクレ」の活用状況についてヒアリングを実施。

(1) 関係者専用サイト

ア 現状

- ・グループツール機能を活用し、IDを作成している関係者間で情報共有を行っている（掲載履歴や閲覧状況、掲載情報へのコメント等が確認しやすい）。
- ・ID作成者同士で必要なグループを自由に作成し、やりとりしている。
- ・関係者サイトにのみ掲載されている情報（主治医・薬剤師等との連携方法等）を活用している。
- ・市民が求める情報については、専門職が「しとってクレ」で検索し、その結果画面等を提示することで対応するケースが多い。

イ 課題

- ・「しとってクレ」ならではの地域資源情報があまり充実していない。
- ・各種関係者に「しとってクレ」が周知されていない。
- ・通知が事業所の登録アドレスにしか届かないため、特定個人への共有にタイムラグが生じる。

(2) 市民公開用サイト

ア 現状

- ・市民が「しっとってクレ」を知らない。
- ・ネットに直接「医療機関名等」で検索した際に、「しっとってクレ」がトップページに出てこないため、他のサイトを活用して検索をすることが多い。(まず「しっとってクレ」で検索し、その後「医療機関名等」で検索をしなければならない)
- ・市民公開用サイトに掲載されている情報は、関係者専用サイトで閲覧できる情報よりも少ない。

イ 課題

- ・市民に「しっとってクレ」が周知されていない。
- ・医療機関等の情報は「しっとってクレ」以外でも検索できるため、「しっとってクレ」が使われにくい。

3 今後の運用について

関係者専用サイトは、情報共有方法の一つとして確立しつつあるため、地域資源の基本情報を共有するだけでなく、主治医への連絡方法、入退院時カンファレンスの担当者等が確認できるなどの医療・介護連携に必要な情報の充実を目指していきます。また、介護タクシーや配食サービス、ペット預かりサービス、通いの場など、その地域独自のサービス情報を掲載する等、市民に寄り添った支援が展開できるよう、関係者専用サイトを充実させ、サイトの利便性向上を目指していきます。

一方、市民公開用サイトについては、サイト閲覧数の大幅な増加が見込めないことや費用対効果の観点から、今後の運用について検討する必要があると考えています。